

第3回津別町議会定例会『行政報告』

はじめに、**高齢者に対するお祝い**についてであります。5月26日、畑山ツル子様**が100歳の誕生日を迎えられましたこと**から、今後とも益々のご健勝をお祈りし、記念品を贈り、祝意を表したところであります。

次に、**津別峠開き・安全祈願祭**についてであります。5月26日、津別観光協会主催による峠開きと、安全祈願祭が執り行われました。平成28年8月の連続台風により、道道屈斜路津別線に大規模な土砂崩れが発生し、津別峠から弟子屈町ウランコシ間7.6キロメートルが通行止めとなっていました。この間、林野庁、北海道ほか関係各位のご尽力により、早期に復旧することができ、峠開き前日の5月25日に、1年9ヶ月ぶりに全線開通となりました。

当日は、武部代議士、高橋道議、徳永弟子屈町長のほか、多くの関係機関の皆様にご臨席をいただき、開通を祝うとともに、訪れる皆様の安全を祈願したところであります。

次に、**TSKOOL (ツクール) のオープン**についてありますが、6月1日、平成27年3月に閉校した旧活汲小中学校を改装し、株式会社山上木工直営のインテリアショップとしてオープンしました。当日は、趣向を凝らした**かんなくず** 鮑屑を使ったテープカットなども行な

われ、関係者や地域の方々とともに門出を祝ったところです。

TSKOOL（ツクール）は、活汲小中学校の「スクール」、ものづくりの「つくる」、オホーツクの「ツク」などの意味を込めて名づけられ、今後、長期で製作する大人向け木工教室や、職人が製造する様子の公開なども予定しており、活汲地区はもとより津別町に人を呼び込む施設が、また一つ増えたことを喜び合いたいと思います。

次に、**殉公者追悼式**についてであります。6月15日、「平和の碑広場」において、ご遺族、ご来賓、関係者48名のご臨席のもと、厳粛のうちに追悼式が執り行なわれました。ご遺族の方々の参列は年々少なくなっていますが、今なお、世界に戦火のやむ日がない中、大戦から学んだ尊い教訓を語り継ぎ、参列された皆様とともに、恒久平和への誓いを新たにしたところであります。

次に、**網走川流域一斉清掃事業**についてであります。6月17日、「網走川流域の会」の主催により、網走川流域1市3町において、一斉清掃が実施され、今回は3度目となります。

津別町では、農業者など72名が参加し、達美橋、弁慶岩付近の網走川のごみ拾いを行い、約120キログラムのゴミを回収し、1市3町全体では、421名が参加し、1,012キログラムのごみを回収したところです。海と大地が川を通じてつながっている意識、

その環境を守る思いを一つにし、目的達成に向け、津別町もその役割をしっかりと果たして参ります。

次に、大地と海をつなぐ植樹についてであります。6月18日、網走川流域の4農協、網走漁協、西網走漁協、網走開発建設部、オホーツク総合振興局、流域の各自治体など関係者156名が参加し、「樹を植えて豊かな海を育てましょう！」を合い言葉に、津別川と網走川の合流地点の左岸に、ヤチダモ、カツラ、ハルニレ、ケヤマハンノキの広葉樹苗木300本の植樹が行われました。

これにより、平成23年からの8年間で、計2,152本を植栽したことになりますが、「森は海の恋人」という言葉を再認識し、上流域の森の町として、その責務をしっかりと果たして参ります。

次に、建設工事等の発注状況についてであります。6月11日現在、

- 一般土木工事関係については、木材工芸館前広場工事他6件
37,077千円(21.2%)
- 一般建築工事関係については、木材工芸館改修工事他4件
127,548千円(44.9%)
- 簡易水道・下水道工事関係については、上里地区導水管更新
工事(その1)他2件 172,908千円(69.5%)

- 設計等委託業務関係については、ネイチャーセンター建設工
事実施設計業務他 9 件 60,845 千円(39.8%)

であり、平成 30 年度予算分について、総額 926,368 千円で、
46.3%の発注率となっており、今後とも適時発注に努めて参り
ます。

なお、今議会におきまして、消防庁舎建設や庁舎建設に伴う大型
補正予算及び条例の制定、改正、廃止などの議案を提出いたします
ので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上
げ行政報告といたします。